

丹沢（浅瀬―世附峠―駿河小山）

山行日 5月6日（月） 天気：曇り 参加者 1名 記：SF
コース 新松田（7：30）―浅瀬入口バス停（8：30）―浅瀬橋（9：25）―
世附峠（11：10）―不老山分岐（11：55）―生土分岐（12：35）―
生土（13：30）―駿河小山駅（13：45）

平成7年の台風で世附川の吊り橋が流されて以降通行禁止のルートです、最初は世附川の渡渉があり次に渡渉後のルートが不明瞭の為、昔の登山道を探すのに注意が必要、登山道には標識もあり、踏み跡も薄い、あります、途中で登山道の崩落箇所が多数あり、迂回ルートにより正規のルートに戻るのが難しい箇所が、今回2か所程あり、ルート検索にGPSを使用して急な坂を谷側までおり、渡渉ポイントを探した、ルートの約7割位は踏み跡がありますが、このコースはGPS等を使用しないと、道迷いの恐れがあります、又林道直前には、崩落対策の場所があり、フェンスにより登山道が通行できない状況になっています。



浅瀬入口バス停より世附浅瀬方面の分岐
（トンネル手前）

途中にミツバ岳登山口があった



浅瀬橋手前のゲート ゲートの脇は
通れないので手前のフェンスの切れ間より
河原に降り迂回します。

この道の先は切通峠につながっている
林道経由で山中湖へも行ける距離が長い



世附川に昔あった吊り橋の土台がある



この場所より河原に降りた



吊り橋が無いので、この場所で渡渉した
石の間をうまく渡り濡れる事はなかった



昔の登山道のなごりで標識もあります
行き先は不老山



次の標識は 世附峠となっています



登山道ですこんな道が続くと良いのですが



良い登山度と思った直ぐ後には崩落場所
この先では、道がなくなっていて
尾根側にトラバースした



トラバースによりルートを見逃し
急な坂を谷までおり渡渉ポイントを発見



ここで登山道に合流



相変わらず崩落場所が多くある



人口林に入り登山道が現れる



標識もところどころにある。



登山度が塞がれていた 鹿策なのか扉には鍵あり
開けられない



フェンス沿いの急な登りが登山道と思われる



フェンスの中は崩落対策の緑地です



林道にぶつかった 番ヶ平よりの林道でした



今回使用したルートは通行止めになっていた
浅瀬側には、表示はなかった



世附峠に到着 林道と登山道の合流点



生土分岐に到着 今回は神縄断層をみに
林道側に行く事にした



途中に滝が 名前は不明



神縄断層の説明



断層箇所は正面の垂直部分だそうです？



林道入口にはゲートがありました



この場所が普段降りてくる場所
林道は長く歩きにくいです